ブルース・ギャグノン福岡講演会へのお誘い

日時：　８月１１日（火），１８時開場，１８時３０分開演，約２時間（通訳付き）

場所：　早良市民センター・３階・第一会議室

（地下鉄・藤崎駅すぐ．改札口からつながっています．天神から９分，博多駅から 15 分．）

費用：　資料代８００円（高校生以下無料）

広島市と朝日新聞、それに平和市長会議の招待で，宇宙軍拡問題の第一人者であるブルース・ギャグノンさんが間もなく来日します．ギャグノンさんは９２年に「宇宙への兵器と原子力の配備に反対するグローバルネットワーク」（GN）を設立し，そのコーディネーターとして、宇宙での原子力配備と軍拡に反対する世界的な活動を続けています．（ギャグノンさんについては裏面をご覧下さい．）このギャグノンさんの講演会を、市民の有志で７月末からお盆前の期間に東京・名古屋・京都・福岡の順に開きます。

福岡県では，この１０月にも芦屋・築城・高良台の自衛隊基地に，迎撃ミサイル PAC３の配備が予定されており、私たちの郷土がいわゆる「ミサイル防衛」の最前線に立たされます．一方，佐賀の玄海原発では，全国の先頭を切って，原子炉へのプルトニウム燃料の導入である「プルサーマル」が実施されようとしています．

この機会に「ミサイル防衛」、「スター・ウォーズ（シールド）計画」とは一体何なのか，また米国の宇宙航空・原子力・軍需産業との関連性はどうなのか，原子力エネルギーとも関連するのか，ギャグノンさんとのＱ＆Ａを通じて考えてみませんか？

たくさんの皆さんのご来場をお待ちしています．

呼びかけ人（五十音順）

青柳 行信（ＮＧＯ人権・正義と平和連帯フォーラム），石村 善治（福岡大学名誉教授），勝連夕子（脱原発くまもとネットワーク会員），郡島 恒昭（平和をつくる筑紫住民の会），田中靖枝（かもねぎ連），仲秋 喜道（玄海原発対策住民会議），深江 守（脱原発ネットワーク・九州 代表），阿 英紹（永福寺住職），松崎百合子（婚外子差別をなくし戸籍制度を考える会），満岡 聡（満岡内科消化器科医院院長），三好 永作（九大教授），渡辺 ひろこ（平和と命をみつめる会）

賛同団体（７／２８現在）

アフガン・イラク戦争を阻止する実行委員会，エネルギーの未来わたしたちの未来実行委員会，核・ウラン廃絶キャンペーン福岡，九州産直クラブ，原水禁福岡地区実行委員会，脱原発大分ネットワーク，特定非営利活動法人 たんぽぽとりで，日本熊森協会福岡県支部，ネットワーク・コスモポリタン，ＮＯ！プルサーマル佐賀ん会，はばもう PAC3 活かそう９条 九州ネットワーク，非核の政府を求める福岡県の会，仏教徒非戦の会 福岡，福岡県原水協，平和をつくる筑紫住民の会，ポリティカル・アイ宮崎/大分，みどり福岡，宮崎の自然と未来を守る会

（連絡先）佐賀大学理工学部　豊島耕一（ 電話/FAX： 0952-28-8845，メール：toyo@cc.saga-u.ac.jp）
大分市　佐藤真喜子　（ 電話/FAX：097-556-8252，メール: armful@oct-net.ne.jp ）

カンパをお願いします．郵便振替口座：スピーキングツアー実行委員会，番号：00120-8-567940